

北条地区
コミュニティ
振興協議会
TEL25-3355

北条ネット
kitajo.net

みやざわ りさ

各町内各団体の振り返りと新年展望について

■ふれあい推進室

室長 品田 純子

ふれあい推進室では、ぎおん民謡流しへの参加、コミュニティ祭り、夏・冬のセンターの館内清掃を行いました。

各行事におきましては、たくさんの方々にご参加いただき盛況に開催できましたこと、心より御礼申し上げます。

各行事では、小さなお子さんからご年配の方までたくさんの方が見られました。特にスノーフェスタの喫茶コーナーでは、様々な年代のプチ同窓会が楽しそうに行われていたのが印象的で、北条の絆の深さを感じました。

新年度も、皆さまが楽しくご参加いただける企画を考えて参りたいと思います。たくさんの方のご参加ご協力をお願いいたします。

■安全対策室

室長 吉川 公一

東日本大震災と原発災害で、これまでの防災対策を根本から見直す必要に迫られ、広域疎開も現実のものとなってしまいました。予定にはなかった柏崎刈羽原発からの距離と標高を示した表示板を、各町内の集会所や公共施設に急ぎよ設置しました。そんな中で実施された、藤沢市六会地区とのバス交流は多数の参加者でにぎわいました。

また、防災グリーンツーリズムと災害時の避難者受け入れなど、多目的な交流施設として古民家を手作りでリフォームした「さらい」を立ち上げました。

新年度は庭作りなどの環境整備を進め、コミュニティ別館としても活用の幅を広げたいと思っています。

■山なみ編集室

室長 星野 和彦

今年度途中から、文字を少し大きくし、五段あった紙面を四段にして写真が大きく掲載できるようにしてみました。皆さんお気づきでしたでしょうか？

室員が取材をして紙面を構成できるような、なかなかいきませんが、地域行事や出来事などを今まで以上に紹介できたのではないかと思います。また、北条ネットに紙面では伝えきれない内容を掲載しています。ご覧いただき、感想をお聞かせいただけると幸いです。

■教育振興室

室長 関 稔

今年度の事業は、地域の要望を受けて「初心者向け太極拳入門教室」を、そして北条小学校にて保護者を対象とした「講演会」を実施し、参加者の皆さんから大変喜んでいただきました。

室員は、家庭教育事業と生涯学習事業に分かれ、それぞれ資質の向上に努めてまいりました。

来年度は、学校と連携を図りながら「いにしえロード」を活用した親子活動などを実施したいと考えています。

■つららなすの会

会長 神林 良定

今年の栽培は共同圃場が三二〇本、個人栽培が二〇〇本の合計五二〇本で始めました。連作の関係上、新しい共同圃場で苗も順調に成長し、七月四日頃より収穫を開始しました。九月初め頃までは販売も順調で品不足となりました。

来年度は元肥を多くして丈夫に育て、たくさんの実をつける事に重点をおきたいと考えております。そしてより多くの消費者を求め、「つららなす」の長所を見つけて、漬け物などの販路にも力を注ぎたいと思っております。

■暖 暖

東日本大震災で福島から田尻コミセンの避難所に避難されてきた皆さまのお弁当を三月十七日から四月二十日までの間、暖暖で届けさせていただきました。手づくりの温もりあるお弁当だと心から喜んでいただくことができました。

新年度も美味しいお総菜を作ってお待たせしております。宅配弁当(総菜詰合せ)のご注文も随時承っておりますので、お気軽にお声をかけてください。

電話 25・3322

六会地区・北条地区 友好交流調印式

コミュニティー会長

江尻 東磨

中越地震からの復興を願って行ってきた「スノーフェスタ in 北条」は今年が最後となりました。そのシンボルとなり、冬の夜空を彩ってくれた“絆”のイルミネーションに地区民の安全と間もなく一年を迎える東日本大震災の復興を祈りました。

七年間続いたイベントに幕を下ろすことは寂しいですが、フェスタを楽しみに足を運んでくださった地域の皆さま、そして、極寒の中で諸準備に汗を流してくださいましたスタッフの皆さまには心より感謝申し上げます。

さて、今回のフェスタには防災グリーンツーリズムのお相手である藤沢市六会（むつあい）地区の役員さんをお迎えし、互いの継続的交流を誓い合う友好交流調印式を行いました。

新年度も交流施設「さらい」を拠点に、六会の皆さまと日常的に、世代を超えた交流をしてまいりますので積極的ご参加をよろしくお願いたします。



友好交流を調印し、固く握手する江尻会長と藤沢市六会地区連合会の佐川会長

地域間の交流は、自分たちの暮らす地域だけでは得ることのできない取組や体験、情報を得る機会をもたらすし、私たちの豊かな心を育む一助となります。また、風水害や震災などの自然災害の教訓から、都市間・地域間で日ごろから意思疎通を持つことが重要であると考えます。

新潟県柏崎市北条地区と神奈川県藤沢市六会地区は、これまでもいろいろな取り組みを継続し、さらに発展させることで、それぞれの異なる文化や歴史、産業などにふれあい、地域住民が豊かな心を育むつながりを築いていきたいと考えています。両地区が有する物的・人的資源を活かして、地域や世代を超えた連携、協働を進めることで、交流を通じて自分達が住む地域を再認識するなど、郷土愛の醸成や地域の活性化による魅力溢れるまちづくりに資するため、ここに地域間交流を進めるための覚書を締結します。

六会からのメッセージ

六会地区自治会連合会

会長 佐川 昇

過日、スノーフェスタにお招きいただき大変楽しい時間を過ごさせていただきました。感謝し御礼申し上げます。北国北条地区の皆さまの一言となる絆に感動しました。また、全国井選手権第二位受賞すばらしいです。そしてこの度、北条地区と六会地区の覚書に調印出来ました事に感謝いたします。これまでのいろいろな取り組みを通じ、今後とも、より一層の交流を深めていただく事が確信できました。

六会地区住民が、交流を通じて自分たちが住む地域を再認識し、災害に強いまちづくりを進めていき、両地区が継続的に交流会をできる事を願っております。

六会市民センター

センター長 石井 恒男

地域同士で繋がるってどんなことなのでしょう。市や町といった自治体でもない地域が交流するって何をするのでしょいか。北条地区と私たち六会地区の間には、直線で約三〇〇キロの距離があり

ますが、まったく縁もゆかりもなかった二つの地域が交流しようと考えたきっかけは防災でした。中越、中越沖と二度の震災を経験された北条地区は、いくつもの地震災害が予測されている六会地区住民にとつて、かけがえのない経験とそこからの復興を身をもって伝えてくれる先輩です。六会地区は見て聞いて学んで、いざという災害に備えなければなりません。また、二つの地区はそれぞれが、いざというときに互いを支援できる距離にあり、助け合いができるのではないかと考えました。

ただ、この度二つの地区が考えたことは災害時のことだけではありません。今、私たちの地域社会は高齢化や少子化の進展とともに人と人とのつながりが希薄になり、自分の住んでいる土地へのふり、自分の住んでいる土地へのふり、自分の意識が失われつつあります。こうした時代の流れの中にあつて、二つの地域がそれぞれの異なる文化や歴史、産業などにふれあい、地域や世代を超えた連携、協働を進めることで、自分たちが住む地域を再認識するなど、郷土愛の醸成や地域の活性化による魅力溢れるまちづくりに繋げていければ良いと考えています。そのため、出来ることから少しずつ始めていければ良いと思います。これからよろしくお願いたします。

“スノーフェスタ i n 北条”

震災復興のシンボルとして製作された、絆のイルミネーションは、今ではすっかり北条の冬の風物詩となり、「スノーフェスタ i n 北条」に色を添えてくれました。



天候に恵まれた今年のフェスタには大勢の人に参加していただくことができました。子どもたちの元気なカウントダウンの声で点灯した「絆」のイルミネーション。今年に更にバージョンアップした「祈りの鐘」に人々は平和な年でありますようにと祈りを込めながら鐘を鳴らしました。折角のイルミ、次年度はコミ祭りの前夜祭に点灯できればと検討しております。



豪雪のお陰(?)でイルミの後ろに巨大なかまくらを作り、中に天神様の像を飾りました。



2階喫茶は大好評!! 老若男女語らいの場となりました。



鬼の衣装は保育園から借用



ピンゴ賞品1等賞



実行委員会



前日準備・手づくり昼食で

— 学業成就にご利益 —

能満能様は全国的にも珍しい能満・力満・福満の三虚空蔵菩薩をご本尊に持ち、広大無辺の記憶力を授けてくださる仏様として知られています。フェスタでは能満寺さまにお願いして、お守りをお授けさせていただきました。

「弘法大師塩水祭祀」を終えて



祭り実行委員長

今年もみんなの祭りが盛大に出た。大雪のなか、しかも厳冬で、指先も自由に効かない凍りつく寒さ。子どもも老人も、おらが祭りで顔面紅潮し、村づくりの一人として一生懸命だった。二日間は山里がお祭りの一色だ。

若い人は、山里になぜこんなに祭りがあるのだろうか？何十年続いているのだろうか？と、物珍しく話を聞く場面もところどころに見られた。祭りは「百八燈」の夜祭りから始まり、「塩水井戸」の昔を想い語り続く御詠歌行列に三〇〇名ほどの見物客で祭りはクライマックス。若きも老いもおらが祭りで一生懸命だ。

誰も応援してくれない、飾り気もない、お金もかけない本当の手づくりの祭りだ。地域に残され引き継がれ、守り通してきた暮らしの中の祭りとして、今後も続けたい。

優勝おめでとう！
北条ビッグバルーンAチーム



二月十一日(土)、長岡市大島小学校体育館にて、「第五回長岡市雪しかキンボールスポーツ大会」が開催されました。小学生最後の試合となったAチームの六年生が意地を見せ、見事優勝を勝ち取りました。

【成績 小学生の部】

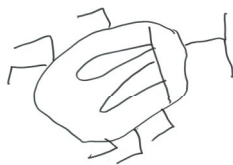
- ・優勝 北条ビッグバルーンA
関碧人・藍沢智也・中山淳平・若杉礼史・五十嵐祥太
- ・四位 北条ビッグバルーンB
笠井一矢・五十嵐洸太・中山祥太・村山滉太・若杉光哉



北条保育園児



山なみ未掲載絵画



きむら かずま



かたやま ひびき

毎月「山なみ」の表紙に、北条保育園の年長さんが描いてくれた絵を載せています。誌面に限りがあり、全員分を載せることが出来ないため、今月号で未掲載の絵を紹介させていただきます。



みずおち ゆう



むらやま えいた



しんがい ともき

— 3月の行事予定 —

総代会	5日(月)	13:30~
民生委員会	12日(月)	9:30~
生花教室	1日(木)	14:00~16:00
かすりの会	27日(火)	9:00~15:00
社交ダンス	12・26日(月)	20:00~21:00
茶道教室	8・22日(木)	13:00~16:30
水彩画教室	7・21日(水)	13:00~15:00
カサブランカ合唱団	毎週金曜日	19:30~21:30
三味線教室	毎週木曜日	9:30~11:30
習字教室	毎週水曜日	16:00~21:00
旧広田ソフトバレー	毎週火曜日	19:30~21:30
卓球クラブ	毎週水曜日	19:30~21:30
越後よさこい凜北条	毎週木曜日	19:30~21:00
ころばん塾	毎週水曜日	10:00~11:30

診療所からのお知らせ

診療日 毎週月・火曜日のみ(祝日を除く)
午前 ~ 外来診療
午後 ~ 往診(午後3時まで)

北条診療所 25-3215